



2021.7

1. はじめに

皆様、こんにちは。ようやく夏らしい日差しが出てくるようになりましたが、お変わりないでしょうか。7月になり、生徒たちの生活も大きく変化する時期を迎えました。この時期に、是非ともご家族で話し合う時間を取って、よりよい進路選択をしていただきたいと思います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2. 大学改革を知る

①大学改革・大学入試改革・高校改革について

この3つの改革は、三位一体の改革として進められておりますが、その内容を理解しているでしょうか？何となく変化がある…というちょっとした変化ではなく、大きな変化ですので、簡単にご紹介したいと思います。

ア)知識中心の入試から → 思考力・判断力・表現力を重視する入試への変化

イ)ペーパー試験のみならず、意欲や目標、これまでの実績等を評価に加味する入試へ

ウ)取得した資格や体験活動を総合的に評価に加える入試へ

まず、**A)の変化**をわかりやすい例でご紹介します。(入試改革「解体新書」より抜粋)

(旧) ザビエルがしたこととして正しい選択肢を時代の古い順に並べなさい。

↓

(新1) キリスト教の日本伝来は、当時の日本にどのような影響を及ぼしたのか、200字以内で説明しなさい

↓

(新2) もしあなたが、ザビエルのように知らない土地に行ってその土地の人々に何かを広めようとする場合、どのようなことをしますか、600字以内で答えなさい。

このように、単純に教科書に書いてある情報を覚えているかを確かめる試験から、自分で考え、様々な情報を総合して解答する(論述表現する)ことが求められる入試への変化が見られます。

次に**イ)について**ですが、国公立・私立ともに、個別試験の出願の段階で「志望理由書」「実績報告書」「学習計画書」等の本人の意欲を確認する記述式の提出物を要求されることが多くなりました。

また、**ウ)について**も外部英語検定資格やボランティア活動、主体的に行ってきた社会貢献活動や研究活動などを総合的に評価するという内容を入試要項に明記する大学も出てきました。

(ただし、活動歴については、予選等を伴う全国レベルの実績を評価するケースが多い)

②学部・学科や受験スタイルが大きく変化しています

これまでの学部・学科を再編し、新たな学部・学科として学生を募集する大学が増えています。その際に定員が減らされたり、受験科目が変更されたりしていますので注意が必要です。また、文理融合型や文系一括入試、理系一括入試などの新しい受験方法が始まりました。変化の激しい現代社会に合わせて、総合的な学び、広い視野からのアプローチが求められていますので、受験生を幅広い視野で集めていくという改革が目立つようになりました。

③大学間の連携が盛んになりました。

大学間の学生の交流、学際的な連携が増えてきました。国公立大学と私立大学の学生が相

互に大学を行き来し、同じ講座を学びながら意見交換できる(単位の修得も認める)という連携が見られるようになりました。国立大学同士や私立大学同士の交流も見られます。

互いの垣根を低くし、必要な研究を協力しながらできる体制は、今までにない新たな取り組みです。このような変化がさらに進むと予想されています。

3. これからの夏休みの過ごし方

①3年生

3年生は、(一部を除いて)部活動もほぼ引退し、本格的に受験勉強に取り組む時期になって参りました。模擬テストも頻繁に行われるため、焦りや不安が広がりやすい時期でもあります。しかし、これから4ヶ月が受験の成否を分ける大切な期間です。勉強をやってもやっても成績が上がらず、むしろ下がったりしてショックを受ける生徒も多くなります。

しかし、低くかがまなければ高くジャンプすることはできません。一度自分に必要な課題と時間を整理し、冷静になって「時間の使い方」と「対策」を熟考することが必要になります。ご家族で話し合い、求めるゴールはどこなのか、今から何を進めれば良いかをご検討ください。本校生は最後の最後まで伸びます。努力を続けていくことが成功への近道です。なお、疑問な点等については、夏休みの三者懇談でご相談ください。

②2年生

2年生は、文理のコース選択後3ヶ月が過ぎ、少しずつ自分の目指す将来の方向性について真剣に考えていく時期に入りました。「総合的な探究の時間」を利用して、テーマ研究が始まっており、生徒の興味・関心をもとに深く探究する活動が始まっております。これは、大学での学びに直結する活動であり、将来の進むべき道を探る有意義な時間となっています。

部活動でも活動の中心となる学年であり、責任感も育っていきます。この時期に将来を考え、大学で学びたい学問の内容を十分に考えてもらいたいと思います。そして目指す大学・あこがれの大学を選び、夢を膨らませて、勉強に取り組んでほしいと思います。実際に大学を見てくるといことも大きなモチベーションになっていくのですが、オープンキャンパスは、今年も中止されるところが多いようです。コロナ感染の状況も視野に入れながらご家族でご検討ください。

③1年生

1年生は、高校生の生活に慣れてきた頃でしょうか。毎日50分授業×7時間+部活動というハードな生活に、少しずつ慣れ、家庭学習時間がしっかり取れるようになってきていることと思います。中学校までの学習との違いを実感し、高校生としての勉強のスタイルを身につけていくことが何よりも大切です。そして、秋には2年生からのコース選択で「文系か理系か」を選択する時期に入っていきます。

まだ入学したばかり、という印象をお持ちのことと拝察いたしますが、もうすでに大学受験の準備が始まっています。高校進学は、身近な中学生とのローカルな競争でしたが、大学入試は、はじめから全国大会となります。お時間を作って、家族で話し合う時間を是非持ってください。そして、将来の生き方、やりたい職業、進みたい進路などについて、お子様と意見を交わしてください。

4. 終わりに

全学年とも夏休みの宿題に「志望理由書」が課されています。これは、将来進みたい進学先について真剣に考え、目標を明確にするために出される宿題ですが、是非、ご家族で話し合う時間を持っていただき、お子様の考える進路を共有していただきたいと思います。

一度しかない16歳～18歳の青春時代を、思い切り全力で駆け抜け、悔いのない毎日を過ごしてもらいたい。そして目標を達成して笑顔で卒業してもらいたいと心から願っております。

「受験準備が間に合わない」という失敗をしないよう、計画的に準備を進めるための第一歩として、この夏休みを有意義に過ごしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

進路指導部

